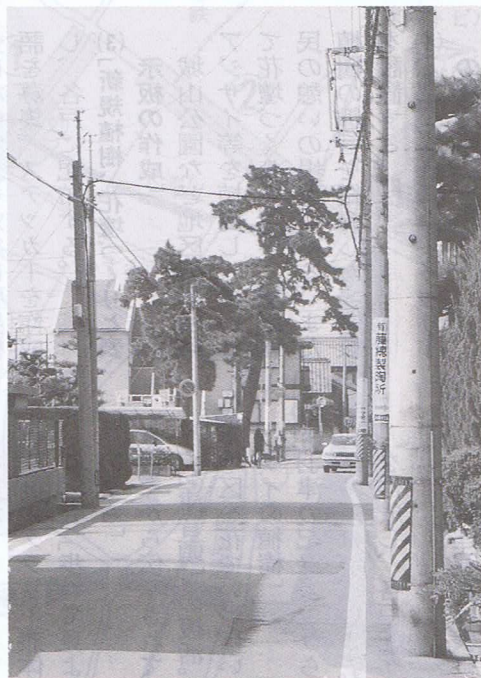




いかるがの里と糠塚山（いかるが町）
ぬかづかやま



旧東海道と二本松（八田一丁目）



羽津城跡（城山町）



員弁街道とふるさと壁画（大宮西町）

秋の一日

羽津の歴史散歩はいかがですか

羽津地区人口 総数 15,351人 男 7,846人 女 7,505人 世帯数 5,540世帯（H10.9末現在）

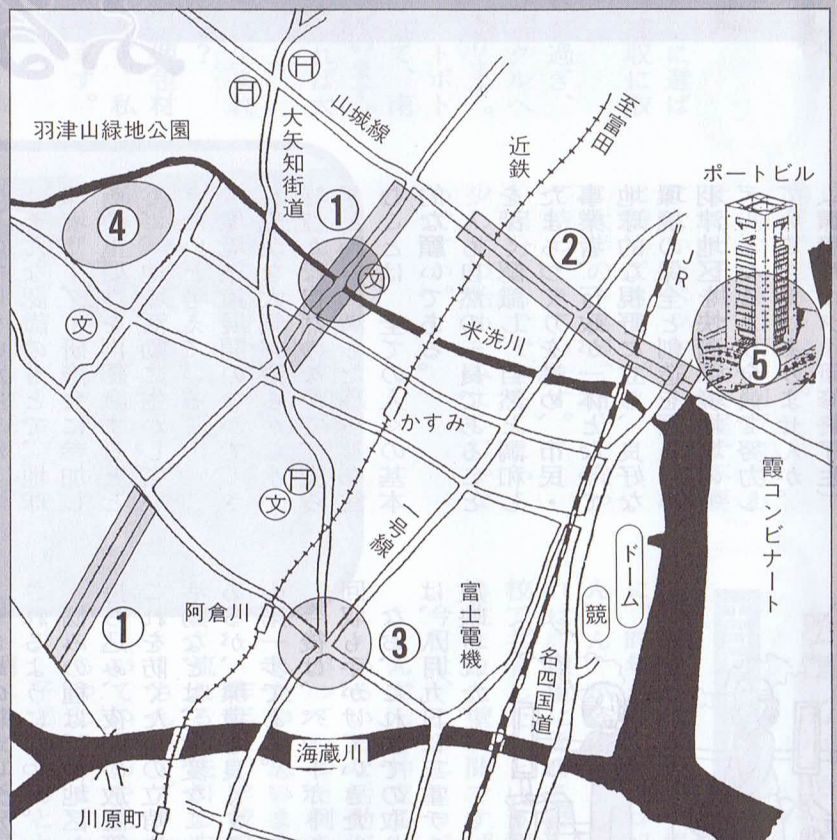
これからの羽津

当地区で、計画されている主な事業について、概略を説明します。

- ①西富田～阿倉川線新設道路計画
平成7年度から土地買収にはいり平成17年度完成を目指しています。一部、米洗川橋を平成11年度に着工予定。
- ②富田～山城線立体化計画
国道一号線の交通渋滞の緩和及び霞埠頭と幹線道路を結び、近鉄線からJR線まで1.2kmを立体化。平成10年度着工、平成15年ごろ完成を目指しています。
- ③金場交差点改良計画
平成10年度から買収交渉にはいっています。交渉が終わり次第着工。工期は約1年で完成予定。
- ④羽津山緑地公園
一部、子ども広場ゾーン完成。引き続き、森とふれあいゾーン、交流ゾーンが平成12年完成予定。
- ⑤四日市ポートビルと緑地公園
平成11年8月、開港100周年を記念して、高さ100mのポートビルが建設されています。あわせて公園整備が行われています。

21世紀における

羽津のまちはこう変わる



心のふれあう地域社会づくり



8年目をむかえたふれあい事業、今年度は「もっと知ろうはづのまち」「環境浄化・省エネルギー」をテーマに、地域に密着した事業を計画しました。皆様のご参加、ご協力をお願いします。

平成10年度地域社会づくりふれあい事業

- (1)「もっと知ろう、はづのまち、地域マップづくり」
羽津地区全図のイラストマップを作成し、主要な道路網、公共施設、交通機関に加えて、名所・旧跡、災害時の避難場所等を掲載する。転入者には地理の案内に、以前からの居住者には、羽津のまちをより知ってもらうために作成し、各戸に配布する。
- (2)「環境浄化、省エネルギー啓発ステッカーの作成」
環境浄化、省エネを広く地区住民に啓発し、PRする。子どもの時から環境・省エネに関心を持ってもらうため、主に小中学生を対象に啓発標語を募集。ステッカーを作成し、各戸に配布する。
- (3)「新規植樹、花壇づくりと表示板の作成」
城山公園など地区の名所にアジサイ等を植樹し、あわせて花壇づくりも行い、地区住民の憩いの場をつくる。また植樹の趣旨を紹介した表示板を設置する。
- (4)「体力づくりウォークラリーの実施」
羽津のまちをより知っても

らうためと、体力づくりを兼ねた継続事業として毎年行っている。年々盛大になっており、定着した事業となっている。

地区住民の方々も、興味のある方はぜひ参加していただきたいので、委員までご連絡ください。

なお、昨年度までに次のようなことに取り組んだ。

- 44*羽津会館東斜面のふるさと壁画「志氏の大地に生きる」の作成。
- 45*「もっと知ろう、羽津のまち」をテーマに、熱気球に乗り、上空から羽津のまちを見た。
- 46*ウォークラリー兼体力づくり大会「歩いて見よう羽津のまち」
- 47*古くから伝承されてきた歌「羽津音頭」の復活。
- 48*地区を花でいっぱい「アジサイの植樹」
- 49*羽津の記録帳「ひらけゆくまち、はづ、いま・むかし」を作成し、各戸配布した。

(関連写真は表紙参照)

市長を囲んで 地区交流懇談会開催

平成十年度地区交流懇談会が、七月二十四日、市民センター会議室において開催され、市側から井上市長はじめ関係部課長、地区側から各町自治会長、民生委員、保護司、その他関係団体役員等が出席し、意見交換を行いました。



はじめに、井上市長から、「四日市の将来がどうなっていくのか、皆さんの一番の関

心事ではないかと思う。日本の人口が減少を続け、また四十年後には高齢者率が35%に達する予定である。四日市については、第二名神高速、中部国際空港建設にとともに、四日市港を活性化し、若者が集まるまちづくりを目指したい。」という話がありました。

本年度は次の三項目を中心に、日ごろ当地区で直面する問題や、将来予想される問題について、次のように提言や意見交換がありました。

一、青少年問題について

- (イ) 青少年の非行、犯罪は根深く難しい問題で、家庭、学校、地域が一体となって対処しなければならぬ。当地区では、野外活動・球技大会等の出会いや規律ある生活を学ぶことが重要な任務だと自負しているが、今年から補助金が一律カットされた。削減ばかりでなく、将来への投資も考えてほしい。
- (ロ) 羽津山緑地の利用が増えるなか、交通安全対策に一層の配慮をされたい。

市の回答

以上の意見、質問に対して市長、市幹部から次のように回答がありました。

*補助金の一律カット

一律カットは良い方法では無く、次年度より見直ししたい。

*羽津山緑地安全対策

関係機関と連携し、歩行道路、標識増設を検討したい。地区住民に啓発する。

*老人福祉問題

色んな制度があるので、関係部課にご相談ください。行政の対応について 本年度は機構改革を実施した。

*小規模工事について

点数制で順位を決めてやる。

*ばい煙、廃油について

県と相談し、検討したい。

*廃車の放置について

調査のうえ、処理をする。指定業者を増やし、競争も激しくなるのではないかと。

四、その他

- (イ) 霞ヶ浦プールが改修オープンしたが、競輪開催時の駐車場対策はどうか。

「ダメゼッタイ」は薬物乱用防止の合い言葉

地球にやさしい羽津の ふるさとづくり

環境を考えるシリーズ その1

地球はすでに病んでいる。経済的にいくら豊かになっても、地球上で生活できないようでは元も子もないからだ。被害が顕在化してから対策を立てたのでは手遅れである。先手先手の対策が必要で、全員で地球環境問題の意識を高める運動展開が目前にきているのではないだろうか。

そんな認識のもとで、地球環境リーダー研修会に参加しその重要性を再認識するとともに、地域活動に生かしていきたいと考えている。

環境施策展開のなかで、さわやかな大気、清らかな水、緑豊かな自然のなかで、安らぎと潤いに満ちた暮らしを営むことは、全ての人々の基本的な願いである。

人も自然の一員であることを深く認識し、自然と調和したまちづくりを進め、市民・事業者、行政が一体となって地球的な視野に立ち、良好な環境の保全と創造を図るため羽津地区を快適環境地域のモデルとなるよう全員で努力していこうではありませんか。(環境リーダー研修終了生)

地域と学校における取組

大宮西町自治会

環境、リサイクルが大きな問題になっている昨今、どこの自治会もゴミ問題は悩みの種である。

わが自治会も、回覧板、組長会議等を通してこの問題に取り組んできた。ダイオキシンの問題等が大きく報道され、よりきめの細かい分別が要求されるようになった。

悩みの種は、他地区からの持ち込み、夜間の放置等で、これを防ぐための立哨や広報活動などは、大変なことではあるが、環境を良くするため第一歩である。

今後は、ペットボトル等の回収も手がけていきたい。なお、これまでの取り組みは、八月九日に三重テレビで放映された。



羽津中学校

リサイクル活動について

五月二十一日、山手町、南いかるが町で地域清掃を兼ねてリサイクル活動を、一年生の行事として行いました。

自分たちの住んでいる地域を自分たちで良くする。当日は、一時間半、分担範囲を各班で空き缶やビンを持って、軽トラック一杯分集めました。

ポイ捨て

自分の心も捨てないで

班の人とグルグル歩き回ってみると、見た目ではきれいだと思ってる所が多々ある。溝や草の間に缶やビンなどが落ちていて、ちやんとごみ箱に捨てて欲しいなと思ったりもした。

それにしても、なぜ草の間や溝にわざわざ置くように捨てるのかなあ、わたしなら、ごみ箱がなかったら家まで持って帰るのになと思ったりもした。一回まわってきたのには、



もう一回まわってくるとまた見つけたということもありました。見てまわっていると通りかかった人が「苦労さま」と言ってくれてとてもうれしかったです。班で協力してやっている、見つからないところも見つかって、協力することはとてもいいことなんだなあと思っています。

わたしはポイ捨てしない人になりたいと思います。ポイ捨てする人は、自分の心もポイ捨てしているのかもしれないなとも思いました。(一年 相松絢子)

羽津小学校

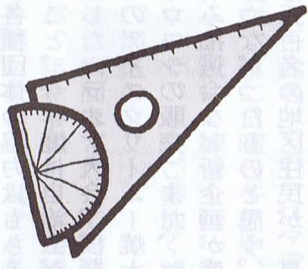
ペットボトル回収

市内で二校の試験校に選ばれ、ペットボトルの回収に取り組んでいます。

回収活動も一年半が過ぎ、子供たちにも、リサイクルへの意識が浸透しつつあります。四日市市では、ペットボトルを「埋立ゴミ」として、南部埋立地で処理しています。

「捨てればゴミ、集めれば大切な資源」です。ペットボトルが何に生まれ変わるかご存じですか?

繊維製品、成形品、梱包材料などに生まれ変わって、私たちの生活に戻ってきます。



子供たちも、再生定規を使っています。

ペットボトルのリサイクルの際には、三つの注意が必要です。

①キャップは、取り外す。



②ボトルは、水洗いをする。③足で踏みつぶす。

週に一度の市の回収に合わせて、子供たちは家庭で不要になったペットボトルを学校に持ってきます。

大半の子供が、自分で洗って持ってきています。自分たちでできることから少しずつ始めてみようじゃないですか。

羽津北小学校

エコジョーしんぶん

羽津北小学校の中央掲示板に、昨年から『エコジョーしんぶん』が登場しました。これは、環境に係わることを全校で共有したいという願いから生まれた壁新聞です。

今日は、このエコジョーしんぶんを仲立ちとしていろいろな活動が紹介したいと思います。昨年、学校の前を流れる米洗川の中にたくさんのアブラナが咲いていたのを見てびっくりしていますか。

子どもたちとともに調べたところ、高いものでは何と2m 60cmもあったのです。まわりには藻がたくさん繁殖していました。その原因を調べようと「米洗川ウォッチング」と称して自分たちで見つけたところ、近くに住まいの方が昔の米洗川の様子を教えてください、子どもたちもび

びに、子どもたちもび

つくりでした。

エコジョークラブが米洗川のBOD値を調べたところ、富栄養化がすすみ、大変悪い状態でした。市の環境保全課でいただいた資料で、そのことが裏付けられたので、学習してわかったことや、自分たちでできることを、エコジョーしんぶんや全校集会でみんなに伝えていきました。

それを受けて、運動会では『自然とともに』というテーマで組み立て体操に取り組みさるにそれを発展させ、地球の温暖化・森林伐採・オゾン層破壊など地球規模の環境問題



を調べ、再びエコジョーしんぶんを紹介していったのです。今日もエコジョーしんぶん(今は3年生のリサイクル工作)を休み時間になるとたくさんの子どもたちが楽しそうに見えています。

を調べ、再びエコジョーしんぶんを紹介していったのです。今日もエコジョーしんぶん(今は3年生のリサイクル工作)を休み時間になるとたくさんの子どもたちが楽しそうに見えています。

盛りあがった 盆踊り大会

今年の盆踊り大会は、例年
にない盛りあがりであった。
各種団体の協力はもちろん
のこと、今年度は自治会が担
当したカラオケ大会、模擬店
でのアイスクリーム、焼トウ
モロコシの販売。また、お楽
しみ抽選会など新企画が盛況
につながったものと思う。約
千五百名の地区住民が、夏
の一夜を楽しみ、ふれあいの場
づくりになった。
(広報文化部会)



防災訓練行われる

救急講習会に出向きます 羽津消防分団

最近、応急手当を学ぼうと
する人が増えています。この



地域の備え大丈夫ですか？

8月30日の防災訓練の一コマ(写真右)。普段は使ったこと
の無い消火器ですが、皆でそろ
って一発消火。備えあれば憂い
無しですヨ。

度、分団員が応急手当の指導
講師の資格をとりました。今
後、地元で講習会を計画する
ことがありましたら分団員が
出向きますので申し出て下さ
い。
(分団長 山本俊一
☎三一一八九三五)

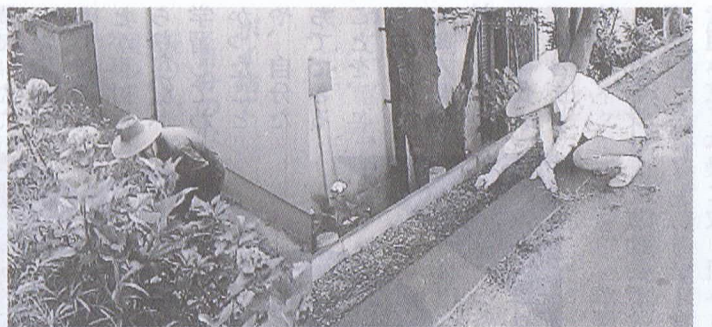
お年寄りへ

敬老記念品贈呈

羽津地区では、敬老行事と
して七十歳以上の方々に長寿
をお祝いして、記念品(ペッ
トボトルクーラー、敬老名簿、
手拭い、長寿箸)を各自自治会
のお世話で、配布させていた
だきました。

羽津地区千六百六十九名の皆
様、世界一の長寿国の日本人
として、いついつまでもお達
者で、お過ごしくださいませ。
(福祉部会)

あじさい通りの 手入れ



六月二十八日、通称「あじ
さい通り」(羽津小学校東通
り)と羽津北小学校南通り)と
羽津会館東斜面の草刈りが行
われ、すっきりきれいななり
ました。

なお、八月三十日には、安
協羽津支部が交通事故防止対
策として、地区内のカープミ
ラーの鏡面みがきを単独事業
として行いました。
(環境・交通安全部会)

センター講座

羽津地区市民センターでは
毎年、各講座を開催し、地域
の皆様に参加をさせていただ
いております。

本年度は、四月にオープン
した羽津山緑地「子どもの広
場」ゾーンにて植樹された草
木や鳥、それを囲む自然環境
を学び、初夏の公園を満喫し
ていただきました。
十・十一月には移動環境セ
ミナーを開催する予定です。
ぜひ参加していただき、ご意
見やご感想などお聞かせ願え
ればと思っております。
(羽津地区市民センター)



地区の活動いろいろ

四日市ドーム 快適ですよ！

予想を上回るホールインワ
ンに、予備として用意した記
念品も無くなりました。四日
市ドームは人工芝だから、た
くさん出たんだろうと思いま
す。ルールは簡単で、パター
ゴルフの要領でボールを打ち
何回でホールポストに入れる
かを競うゲームです。年齢に
関係なく誰でも気軽に楽しめ
ます。会場のあちこちから歓
声あり、ため息ありの楽しい
ひとときでした。

これは、八月一日行われた
『羽津地区グラウンドゴルフ大
会インナイタードーム』(参加
者九十六名)での一コマです。
現在、第二日曜日午前中、羽
津小学校にて練習を行ってい
ますので、ぜひご参加くださ
い。地区のソフトボール大会
も年に四回ほど行っておりま
すが、年々参加チームが減っ
てきています。一人でも多く
の方の参加を待っています。
(体育振興協議会)



ドームで 球技大会

八月二日に羽津地区球技大
会を四日市ドームにて行いま
した。昨年はどしゃぶりの雨
の中で、両小学校に分かれて
時間も延長して行ったことを
思えば、本当にいい施設がで
きたと思ひ申しこみました。
地区内で初めて、青少協の
球技大会と体育振興協議会
「グラウンドゴルフ大会イン
ナイタードーム」を行いました。
今回は、前日、当日とも雨の
心配もせず、大会当日をむか
えられました。ドーム内は、
半分はグラウンドゴルフのコ
ート、あと半分をドッジボー
ルのコートをとりました。



球技大会は、各町の練習の成
果が出て大変盛り上がり、ま
わりの応援にこたえて子ども
たちも頑張りました。成績は
次の通りです。

- 男子 優勝 別名五、六丁目
準優勝 大宮南東
- 女子 優勝 別名四丁目
準優勝 別名五、六丁目
- 混合 優勝 別名二丁目
準優勝 大宮西町

(青少年育成協議会)

みんなでスポーツを

スポーツは、人生を健康で楽しく健やかに過ごすために必要
です。特に、スポーツ少年団の活動は、そのスタートラインに
ふさわしい出会いでなければなりません。
羽津スポーツ少年団は現在五種目六団体あり、スポーツをと
おして仲間意識や規律正しさを、満足感を養うことにより、子
どもたちは有意義な経験をしています。それぞれが自分に合っ
た適性を見つけて、素晴らしいスポーツ少年に成長しています。
地域の皆さんもスポーツを楽しんでください。

サッカー部

火、金、土曜日。羽津小学
校にて。正しいサッカーを学
ぶことにより
心身の育成をは
かります。



羽津北野球部

月、火、木、金、土曜日、
羽津北小学校にて。「試合
に集中、考えたプレー」を
目標に活動。各大会、毎試
合好成績を残しています。

バレーボール部

水、土、日曜日。両小学
校体育館を交互に使用。最
近の成績は
優勝二回、
二位一回、
三位一回。



剣道部

土、日曜日、羽津小学校体
育館にて。「礼に始まり、礼に
終わる」武道で、心・技・体
の充実をめ
ざし、練習
しています。



羽津野球部

毎日、昭石緑ヶ丘グラウ
ンドにて。
「基礎に忠
実、チームプ
レーに徹する」
を目標に活動
しています。



水泳部

現在、部員募集中です。

スポーツ少年団の活動内容

初出場で全国大会制覇！

羽津中学校女子ハンドボール部

8月18日から21日、宮城県仙台市で行われた第27回全国中学校ハンドボール大会で、見事栄冠に輝きました。

みんなでつかんだ優勝旗

今までの苦しい練習の成果で「全国制覇」ができたのも自分の力だけではありません。練習を指導してくださったたくさんの先生方、一緒に練習してくれた男子、ずっと影で



見守ってくれていた家族、そして辛い時も、うれしい時もいつも励まし合ったメンバー、本当にたくさんの方が支えてくださったおかげで、一生の思い出をつくることができました。

全国大会では、すべての力

を出しきれない試合もありました。そのことには、自分の中ですごく腹がたちましたが、その気持ちを次の試合に活かすこともできました。

優勝した瞬間は、頭の中が真っ白になって、自然に涙があふれだしました。羽津中の

メンバーとしてハンドボールをやってきた本当に良かったです。一人でも欠けていたら優勝はなかったと思います。

私は、本当にハンドボールという競技に出会えて良かったです。チームで戦うことの本当の楽しさを経験できました。自分の立場や周囲の事も考えられるようになりました。

入部してから引退するまでに本当にたくさんの出来事があります。次へのステップとしてチームメイト全員うれしく思っています。

最後に、私たちの目標でもあり、夢でもあった全国制覇ができて本当に幸せです。

（女子ハンドボール部主将）

百歳ばんざい

別名一丁目 森 里し さん



今年の九月十五日の敬老の日、四日市で十人の百歳が誕生しました。羽津地区でも別名一丁目の森 里しさんが百歳になりましたので、お話をうかがってきました。

Q 最近の生活は

A 週二回、「萌乃里」に行き、一日楽しく過ごします。

長生きをして、地区広報に載り、喜んでいきますとのこと。家族の方の話によると、まだまだ自分のことは自分でできるそうで、これからも「羽津のきんさん、ぎんさん」になるよう頑張って長生きをしていただきたいと思います。

編集後記

秋本番、「スポーツと文化の出合うまち」、はづのキャッチフレーズです。皆さん、さわやかな秋を楽しんでください。明るいニュースが二つ、羽津中学校ハンドボールチームが全国制覇、羽津地区で初めて百歳になられた 森 里しさん。優勝と長寿、おめでと

うございます。新しいメンバーでつくった「広報第36号」、明るいニュースが書けました。感想、ご意見をお寄せください。

（広報文化部）

